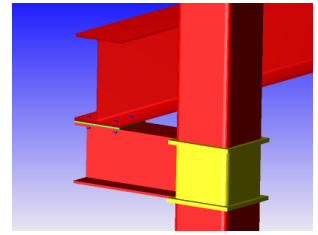


クレーンゲーターを入力したい！

ボルト止めは部材と部材の接合で入力します。

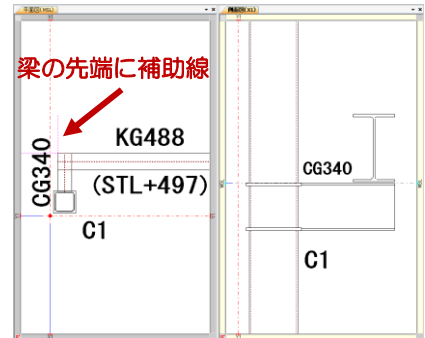


クレーンゲーターの梁を入力します

【本体】 - 【梁】 - 【入力】 で梁を入力します。

片持ち梁上に乗る梁は、補助線（平行線など）を引いて配置します。

片持ち梁上に乗るよう、上下数値で高さを調整します。



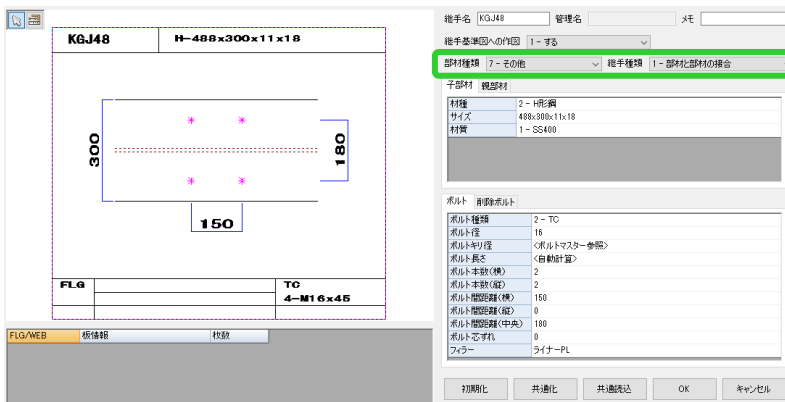
継手を作成します

【本体】 - 【マスター】 - 【継手】 をクリックしします。

部材種類を『7-その他』、継手種類を『1-部材と部材の接合』を選択します。

子部材タブは片持ち梁上に乗る梁のサイズを設定します。

ボルトタブで、ボルト種類・ボルト径・ボルト本数などを入力します。



フィルアを入れて取り合う場合

片持ち梁上に乗る梁の上下数値は、フィルアの板厚を考慮し配置します。

継手マスター登録時に、フィルアに名前（例：ライナーPL）を入力します。

ボルト 別添ボルト	
ボルト種類	2 - TC
ボルト径	16
ボルトキリ径	<ボルトマスター参照>
ボルト長さ	<自動計算>
ボルト本数(横)	2
ボルト本数(縦)	2
ボルト間距離(横)	150
ボルト間距離(縦)	0
ボルト間距離(中央)	180
ボルト芯ずれ	0
フィルア	ライナーPL

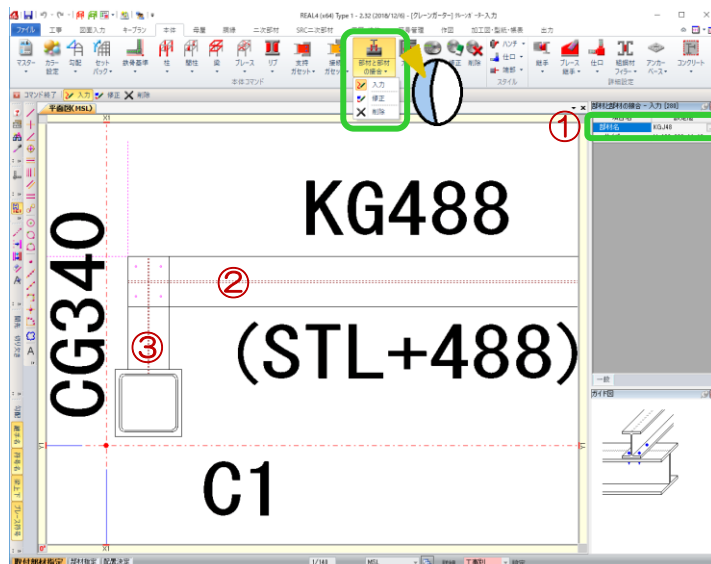
部材と部材の接合を入力します

【部材と部材の接合】 - 【入力】 をクリックします。

部材名の...をクリックし、登録した継手名を選択します。

片持ち梁上に乗る梁→片持ち梁の順でクリックします。

部品マスターでフィルアを登録します。



部品名 ライナーPL	
部品種類	1 - フィラー板
フィルア種類	2 - フィラー(溶接)
材種	1 - プレート
サイズ	9
板幅	300
板長さ	250
材質	1 - SS400
型紙出力	2 - 出力する

ボルトは継手マスターで設定しているため、フィルア種類は『2-フィルア（溶接）』を選択し、型板として出力したい場合は型紙出力『2-する』を選択します。